

## 旭区区政会議委員による主な教育関連意見について

## 学力向上に関すること

- ・「学力アップアシスト事業」は基礎学力向上に有効な事業だと思う。参加生徒を増やす努力も必要。(令和2年度第2回区政会議 全体会議(R2.12 書面開催))

## [区の考え方]

当該事業は、児童の学習習慣の定着や基礎学力の向上をめざし、放課後の空き教室を利用して、指導員として地域の方々などの協力も得ながら実施しています。引き続き、支援が必要なより多くの児童に対して有効な学習機会の場を提供できるよう、各小学校とも連携して取り組んでいきます。

## 防災教育に関すること

- ・小・中学生への体系的な防災教育は引き続き実施してほしい。町会と小・中学生との交流の場を今後も作ってほしい。(令和2年度第2回区政会議 全体会議(R2.12 書面開催))

## [区の考え方]

防災教育については、小学校高学年から中学校における体系的な学習機会を提供することで自助・共助の精神と防災・減災スキルを身につけてもらうことを想定しています。また、地域と小・中学生との交流の場については、土曜授業の活用など学校にも地域との連携を働きかけていきます。

- ・防災訓練に参加するのはほとんど高齢者であり、無線を使い慣れていない。無線の担当者を決めて、その知識を持ってもらうのが良いのではないか。避難時に実際に動くのは若い人なので、防災の担い手として中学生に教育するのは役に立つと思う。(令和3年度区政会議 第1回活力・安全部会 (R3.7.20 開催))
- ・自分の地域では、中学生とともに実施した避難所開設について、非常に良い訓練ができたので、他の地域の方も一緒に行いたいと考えている。(令和3年度区政会議 第1回活力・安全部会 (R3.7.20 開催))

## [区の考え方]

地元にいる若い方々(中学生や小学校高学年児童など)は無線を十分に使えると考えられます。地域の防災リーダーの力を借りながら、学校での防災教育の際に、トランシーバーや無線機の活用を実践し、多くの子どもたちが使い方を習得できるようにしていきたいと考えます。